



## 2020年12月12日（土）活動報告

2020.12.16  
シャープ社友会  
チーム神於山  
真砂 記

■活動日：2020年12月12日（土） 10：00～14：30

■参加者：チーム神於山のメンバー 9名

### ■活動内容

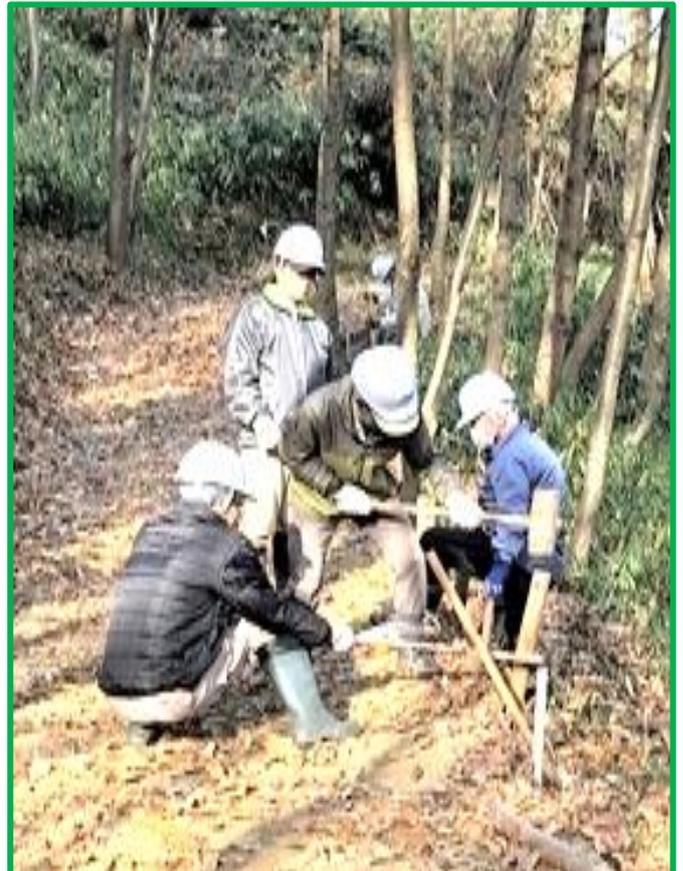
- ・今回は、本年最後の活動日として、午前中は上部植栽地で木杭に拠る土止めの補強・車の転回地の谷側の嵩上げ・トレイルカメラでの観察の邪魔になるヒノキの枝の除伐等を行いました。
- ・また午後は、ここ数年手が入られていない竹林の状況を確認しました。
- ・これから来年の5月頃まではフクロウの営巣期間になりますから、上部植栽地での活動は、営巣状況の確認を除き休止しますが、山積みしたままになっているヒノキやヤマザクラの粗朶は、放置するとスズメバチが巣を架ける恐れがありますから、基地に運んで暖取りの薪にします。

### ■次回以降の活動

- ・記念樹ゾーンや、竹林の整備に取り組みます。また、収納物がごちゃごちゃになっている倉庫の整理も行います。
- ・別途ご案内しますので、奮ってご参加ください。

■午前中の活動 木杭を打ち込んで土止めを補強・車の転回地の谷側の嵩上げ・ヒノキの枝の除伐

### ・木杭で土止めを補強



- ・土止めは、カク木材の加来さんから提供頂いたウッドデッキの廃材を並べ 繋ぎ目を鉄パイプで留めていましたが、更に中間に木杭（これも加来さんから頂いたもの）を打ち込み補強しました。

・車の転回地の谷側の嵩上げ + ヒノキの枝の除伐



転回場所の入口付近の地ならし



山側から谷側へ、転回場所の地ならし



ヒノキとヤマザクラの粗朶の山



ヤマザクラの幹は、土止めに活用



ヒノキの邪魔な枝の伐り落としまで あと一息。

- ・山側から谷側への土の移動は、油圧ショベルなら簡単に済ませられる作業ですが、人力ではかなりの力仕事で大変です。
- ・斜面の角度は、四輪駆動車なら楽に切り返し出来るレベルですから作業は取りあえず急ぐ部分に絞って進めました。皆さん、お疲れ様でした。
- ・トレイルカメラと巣箱の間の撮影の邪魔になっていたヒノキの枝は、金井さんが、手作りの高枝切ノコギリで切り落としました。
- ・これで巣箱に出入りする親鳥の姿や、巣立ち間際になると入口に姿を見せるヒナを撮影する準備が整いました。
- ・特にこれ迄ヒナの巣立ちの瞬間は撮影できていませんが、今年は何とか撮りたいものです。

・活動頂いた皆さん。お疲れ様でした。 香遠さんと北浦さんは基地詰めです。 (真砂写)



来年の今頃は、マスクが 昔話になっていることを願って一枚。

### ■午後の活動

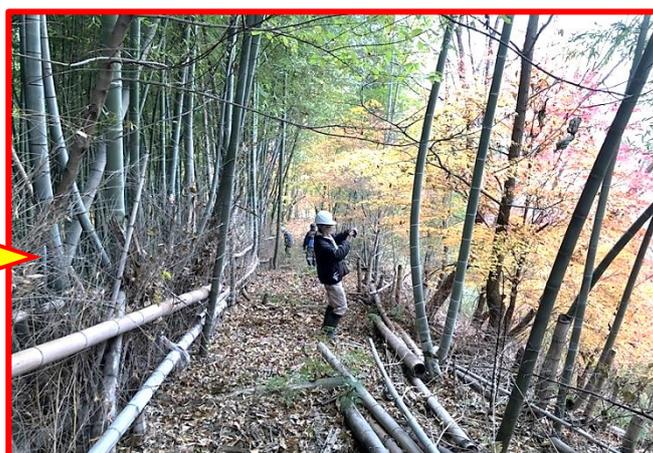
### 竹林の状況確認



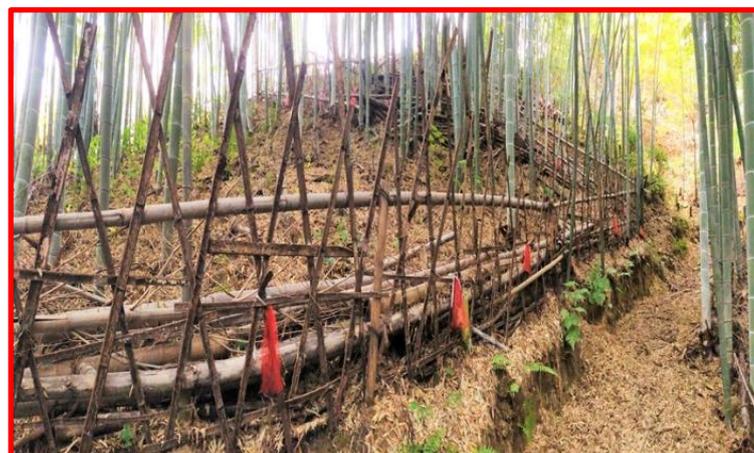
「危険」の文字が消えた看板



倒木の枝を処理



管理エリア(左)から遊歩道を潜って出た竹(右)



比較的スッキリしているが、若い竹が少ない管理エリア



崩れが酷い路肩。雨の為か？

- ・竹林は、想像通り竹が密集しているだけではなく、竹が遊歩道を潜って出るなど勢力を増しています。
- ・竹柵で区切り管理しているエリアは、密ではありませんが、古い竹が多くなっていてタケノコを掘り過ぎた感が有ります。
- ・来年は、タケノコはエリア外で掘る一方、古い竹を間伐する等、新陳代謝を進める必要が有りそうです。以上